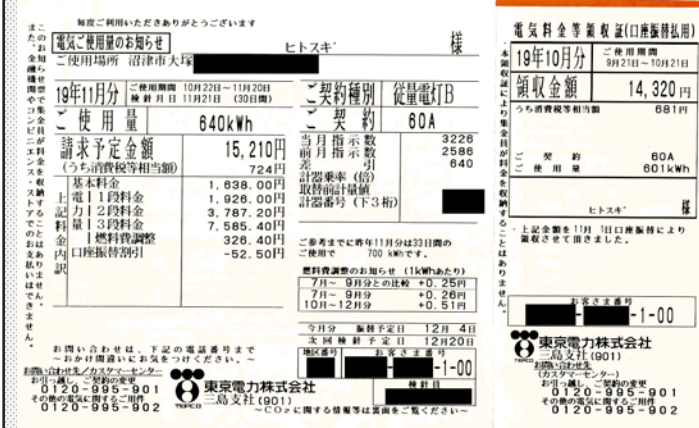


オール電化(前) (光熱費の一覧表)

熱源	1年間	1ヶ月
電気	206,664 円	17,222 円
ガス	232,632 円	19,386 円
灯油	16,000 円	1,333 円
合計	455,296 円	37,941 円



(ある1ヶ月の電気使用量)

我が家は築三一年、昭和五六年の建築基準法改正以前の建物です。以前からオール電化にしようという話はありません。でも、あと何年かすれば新しく家を建て直すかもしれないし、まあまあ、もう少し様子を見てみようと考えていました。皆さんの中にもこんな考え持っている方が結構多くないですか？(そのうちリフォームするからその時に一緒にやろう)(子供との同居を機に家を建て替えたら、その時にオール電化にすればいい)というような。でも、それは一体いつの事になるでしょう。「あと何年」とか「そのうち」という言葉はともあまいで現実味が薄いものです。一方で、IHクッキングヒーターとエコキュートは、今導入してもそれがリフォームや建て替えの時に無駄にはなりません、ちゃんとその後も使うことができるんです。勿論、オール電化をすることで光熱費を削減できるし、安全で安心な生活の実現、環境にもやさしいクリーンな家の実現というように、みなさんの暮らしをより一層豊かにさせてくれます。

最初に我が家の光熱エネルギーの費用を書き出してみることになりました。1年間でどれだけ光熱費がかかっているのか、またオール電化で、どれだけ抑えることができるのかを比較検討してみました。ちなみに家族構成は大人4人です。

我が家にオール電化導入

快適空間を求めて

八月某日、遂に我が家にもIHクッキングヒーターとエコキュートがやってきました。これで晴れて「オール電化住宅」の仲間入りです。実は、正直なところ当初は自宅のオール電化に躊躇していました。皆さんはとも怒られてしまいますが本当の話です。でも、そんな私たちがオール電化の導入を決めた理由から工事にかかるまでの道のりをみなさんに詳しく解説します。今まで興味のなかった人も必見です。我が家のオール電化記録を是非ご覧ください。



IHクッキングヒーター
エコキュート



オール電化空間
を歩く

あつたんだらんオール電化!!

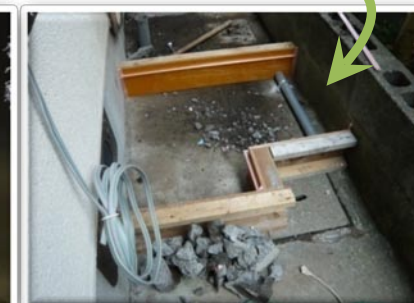
保存版

我が家の場合は既に①の単相3線式設備になっていましたが、IHクッキングヒーターを現状の設備で使用すると容量が足りないと判断して、ブレーカーの容量を大きくしました。分電盤へ至る屋外の電線をひとまわり太い電線に張り替え、分電盤を一つ追加する工事をしました。大まかですが、工事費用は二〇〇万円程度といたるところでしょう。我が家の場合の工事期間は延べ三日間でした。

工事の様子



工事	内容	費用
① 200V 設備工事 (単相3線式設備)	<ul style="list-style-type: none"> ●幹線張り替え工事 ●分電盤改修工事 ●電力会社図面申請手続き ※専用回路工事 ※アース工事 ※点検口造作工事 ※印は状況により必要な場合があります 	約 20 万円
② IHクッキングヒーター工事	<ul style="list-style-type: none"> ●IH用電源配線工事 ●ガスコンロ撤去 ●IHクッキングヒーター据付工事 ※ガス使用停止の手続きはお客様にて 	約 30 万円
③ エコキュート工事	<ul style="list-style-type: none"> ●エコキュート電源配線工事 ●エコキュートリモコン配線工事 ●エコキュート据付箇所基礎工事 ●エコキュート据付工事 	約 70 万円



確かに光熱費は大幅に削減できることは分かったけど、オール電化工事に多額の費用がかかってしまっただけでは、かえって無駄な事になってしまいます。では工事費用はどのくらいでしょうか。

オール電化(後) (光熱費の一覧表)

もともとの電気契約 60A 毎月の基本料金(税込)	1,638 円
基本料金・・・使っても使わなくても必ずかかる料金	
使用量に応じた電気料金	17,222 - 1,638 = 15,584 円
オール電化の電気契約 電化上手 10kVA 毎月の基本料金(税込)	2,100 円
IH使用電気代	1,100 円
エコキュート使用電気代	1,100 円
1ヶ月 合計	19,884 円
1年間 合計	19,884 × 12ヶ月 = 238,608 円

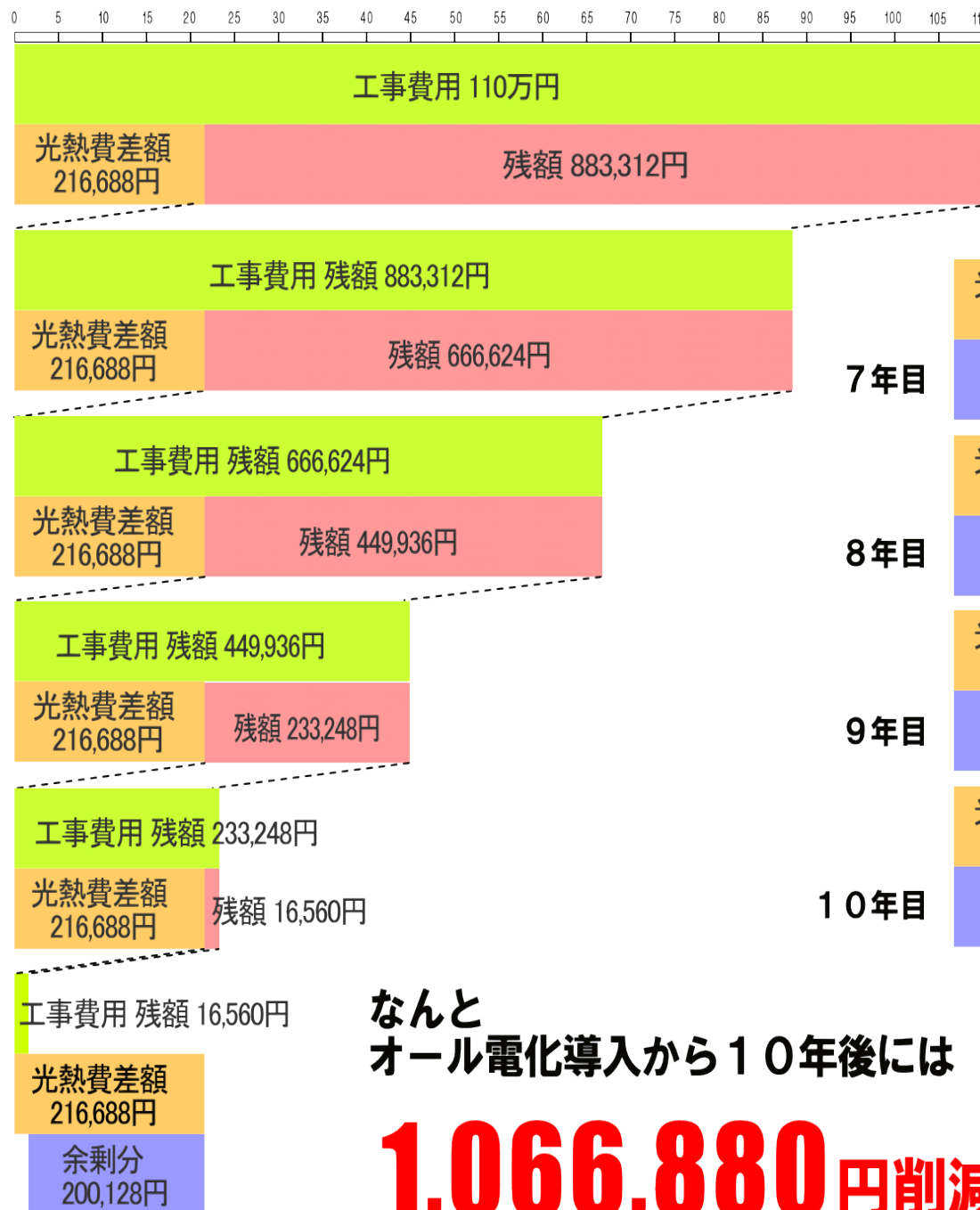
オール電化前後の差額は
455,296 - 238,608 =
216,688 円

■事前準備

工事にかかる前にエコキュートを設置する洗濯機置き場と、配線するために入る床下収納箱と台所の掃除をしました。
 (※洗濯機置き場を別に設けました。)
 実際工事に取り掛かる前にはこういう場所を片付けないとスムーズに仕事できません。お宅によっては天井裏に入る場合もあるので、押入れや納戸、浴室の点検口周辺を片づける必要があります。

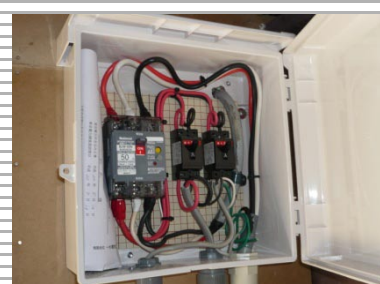
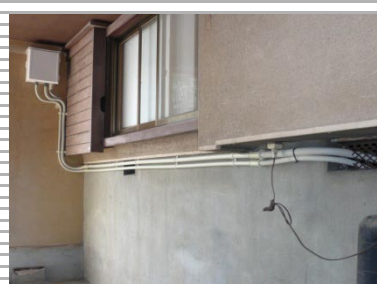


オール電化工事にかかる費用



■分電盤工事

既設の分電盤からIHとエコキュートの電源を配線するより容易な方法として新たに分電盤を追加しました。そこから床下を通して配線します。電気メーターはオール電化専用の電気メーターに換わります。



■エコキュートの基礎工事

我が家のエコキュートのタンク容量は 460L、満水時にはタンク本体を含め凡そ 500kg の荷重がかかります。そのため設置箇所はしっかりとしたベース基礎がなければいけません。



型枠の中にコンクリートを流します
 固まったらエコキュートを設置し、
 転倒を防止するため、しっかりとボルトで固定します。

なんと
 オール電化導入から10年後には

1,066,880円削減できます

上の図は我が家がオール電化にした時にかかる工事費と光熱費の差額を比較検討したものです。まず1年目はオール電化工事に 110 万円がかかります。しかし、ガス代がなくなるので、その差額 216,688 円を工事費に充てることができます。このようにして、2年目、3年目と経過していくと、なんと5年目で工事費と光熱費差額が相殺され、なんと6年目には光熱費の差額分のほぼ全部が浮いたこととなります。7年目以降はまるまる余ります。ここが皆さんに一番よく知っていただきたいポイントなのです。極端な言い方をすれば、例えば 100 万円を銀行に預けて10年後にこれだけの金利が付いて戻ってくるでしょうか？そんなことはまず考えられません。もし、将来的に建て替えやリフォームをお考えになるなら・・・今オール電化にしてしまえば、機器本体そのものはそのまま再使用できますし、「オール電化エコ貯金」と題して10年後にはその頭金として蓄えることも可能です。さて、みなさんはこの「オール電化エコ貯金」を何に使いますか？